

# 個人投資家向け会社説明会

Be the Best, Be the One  
～安定的・継続的な成長を目指して～

2017年9月

住友商事株式会社  
(証券コード：8053)

# Topics

1. 住友商事について

2. マテリアリティ（重要課題）

3. Be the Best, Be the One 2017の進捗

4. 配当方針

5. おわりに

（参考資料）

## 将来情報に関するご注意

本資料には、当社の中期経営計画等についての様々な経営目標及びその他の将来予測が開示されています。これらは、当社の経営陣が中期経営計画を成功裡に実践することにより達成することを目指していく目標であります。これらの経営目標及びその他の将来予測は、将来の事象についての現時点における仮定及び予想並びに当社が現時点で入手している情報に基づいているため、今後の四囲の状況等により変化を余儀なくされるものであり、これらの目標や予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。したがって、これらの情報に全面的に依拠されることは控えられ、また、当社がこれらの情報を逐次改訂する義務を負うものではないことをご認識いただくようお願い申し上げます。

# 住友商事について

2017年3月31日現在

- ◆設立 1919年12月
- ◆総資産 7兆7,618億円
- ◆拠点数 国内 22拠点  
海外 108拠点（65カ国）
- ◆連結対象会社数 950社  
（海外809社、国内141社）
- ◆従業員数 単体 5,342名  
連結 70,900名

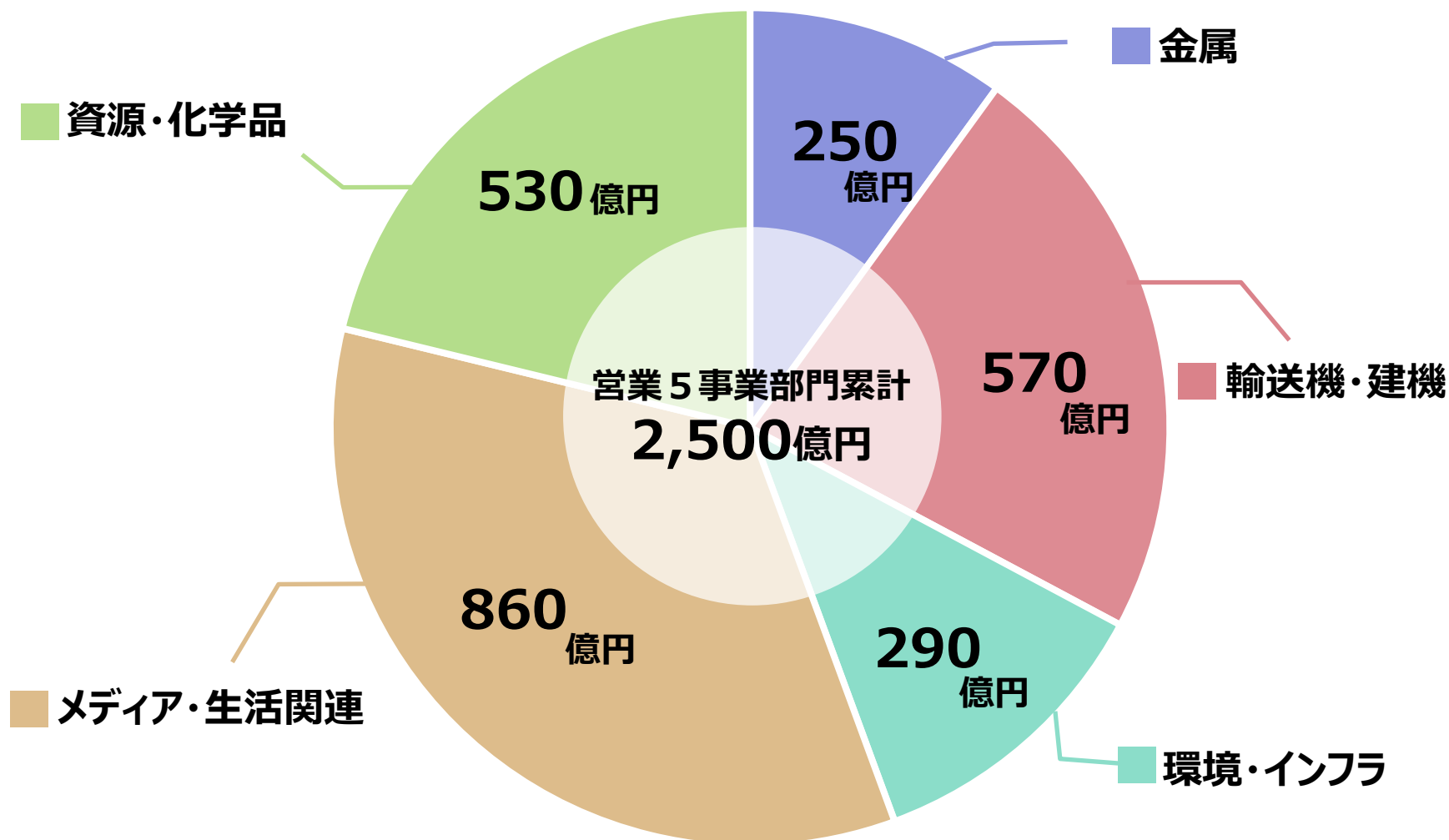


|               |                               |
|---------------|-------------------------------|
| 金属            | 鋼材／鋼管／非鉄金属製品                  |
| 輸送機・建機        | 船舶・航空宇宙・輸送インフラ／<br>自動車／建設機械   |
| 環境・インフラ       | 社会インフラ／電力インフラ／<br>物流保険        |
| メディア・<br>生活関連 | メディア・ICT／リテイル・食料／<br>生活資材・不動産 |
| 資源・化学品        | 資源・エネルギー／<br>化学品・エレクトロニクス     |

# 事業部門別当期利益（2017年度通期予想）

BE THE BEST, BE THE ONE

（単位：億円）



# マテリアリティ（重要課題）

## 社会が抱える課題への意識の高まり

### 持続可能な開発目標 (SDGs)

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS  
17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD



### ESG経営

環境 : Environment

社会 : Society

企業統治 : Governance



## 400年続く住友の事業精神 「自利利他公私一如」



住友家初代 住友政友  
(住友史料館所蔵)

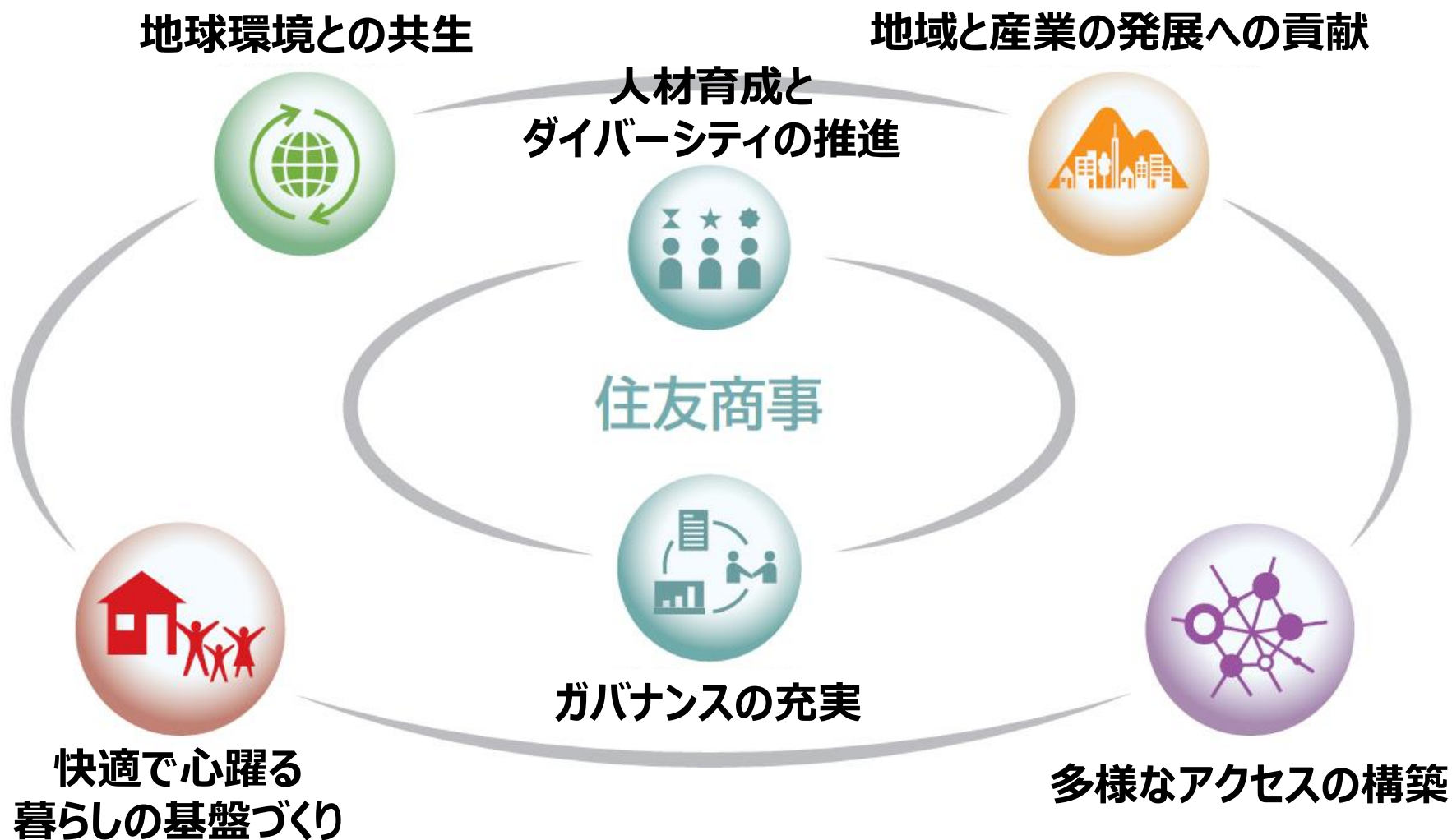


住友政友書 文殊院旨意書  
(1650年頃)

## 住友の事業精神 住友商事グループの経営理念

社会とともに持続的に成長するための  
6つのマテリアリティ(重要課題)

事業活動





## 地球環境との共生

循環型社会の形成と気候変動の緩和を目指し、資源の有効利用や再生可能エネルギーの安定供給に向けた仕組みづくりに取り組むことで、地球環境と共生した成長を実現します。

### ➤ 取り組み事例



再生可能エネルギー事業



木材資源事業



リユース蓄電池プロジェクト



## 地球環境との共生

### 再生可能エネルギーの安定供給 (ベルギー・洋上風力発電事業)



風力発電や太陽光発電などの再生可能エネルギー事業を国内外で積極展開し、環境に配慮した安全・安定的なエネルギー供給を進めています。



## 地域と産業の発展への貢献

さまざまな国や地域の人々のニーズに応じてモノやサービスを  
安定的に調達・供給し、産業のプラットフォームづくりに貢献する  
ことで、地域社会とともに成長・発展する好循環を生み出します。

### ➤ 取り組み事例



エネルギーの安定供給事業



工業団地事業



資源開発事業





## 地域と産業の発展への貢献

### 資源の安定供給や、地域社会への貢献 (ボリビア・サンクリストバル鉱山)



資源の安定供給と同時に、所在国の人材育成や産業・インフラ整備などの地域振興にも取り組み、環境保全と持続的な発展に貢献しています。



技術訓練センターの授業風景



## 快適で心躍る暮らしの基盤づくり

毎日の生活に必要なモノやサービスを提供してより便利で快適な暮らしを実現するとともに、質の高い暮らしへのニーズにも応えていくことで、全ての人々の心と体の健康を支えます。

### ➤ 取り組み事例



ケーブルテレビ事業



自動車・二輪車ファイナンス事業



農薬・肥料事業





## 快適で心躍る暮らしの基盤づくり

### 暮らしを支えるサービスの提供 (J:COM)



全国528万世帯に90チャンネル以上のテレビやインターネット接続サービスなどを提供する日本最大のケーブルテレビ事業を通じて、人々の生活全般を彩っています。



## 多様なアクセスの構築

人・モノが安全かつ効率的に行き交うモビリティを高め、情報・資金をつなぐネットワークを拡大することで、多様なアクセスを構築し、新たな価値が生まれる可能性を広げます。

### ➤ 取り組み事例



航空機リース事業



携帯電話キャリア事業



交通網構築を支える事業



## 多様なアクセスの構築

空の移動をサポート（航空機リース事業）  
ネットワークの創出（ミャンマー通信事業）



航空機リース事業を通じて、  
世界の国々をつなげています。



ヤンゴン市内のMPT店舗

ミャンマーにおける携帯電話の普及を  
通して、ネットワークを創出しています。



## 人材育成とダイバーシティの推進

多様なバックグラウンドを有する人材が、各々のフィールドで能力を最大限に発揮して、新たな価値や革新を生み出せるように、最重要の経営リソースである人材の育成・活躍推進に取り組みます。

採用：グローバルに活躍できる資質と意欲を持った  
多様な人材を採用

育成：OJT（実践）とOFF-JT（研修）を両輪とした  
グローバル人材育成を促進

活躍推進：一人一人の活力の創出と、多様な人材の  
活躍を推進



## ガバナンスの充実

透明性を確保しつつ、持続的な成長に向けた戦略の立案・実行およびその適切な監督を充実させることで、経営の効率性を向上し、健全性を維持します。

取締役会のモニタリング機能強化

取締役会の実効性のさらなる向上に向けた  
継続的な取り組み

地球環境との共生

地域と産業の発展への貢献

**重要課題を経営戦略や  
事業の取り組みの根幹に据える**

社会課題の解決

**持続可能な社会の実現、企業価値の向上**

ガバナンスの充実

快適で心躍る  
暮らしの基盤づくり

多様なアクセスの構築

# Be the Best, Be the One 2017の進捗



**経営改革の推進**

**成長戦略の推進**

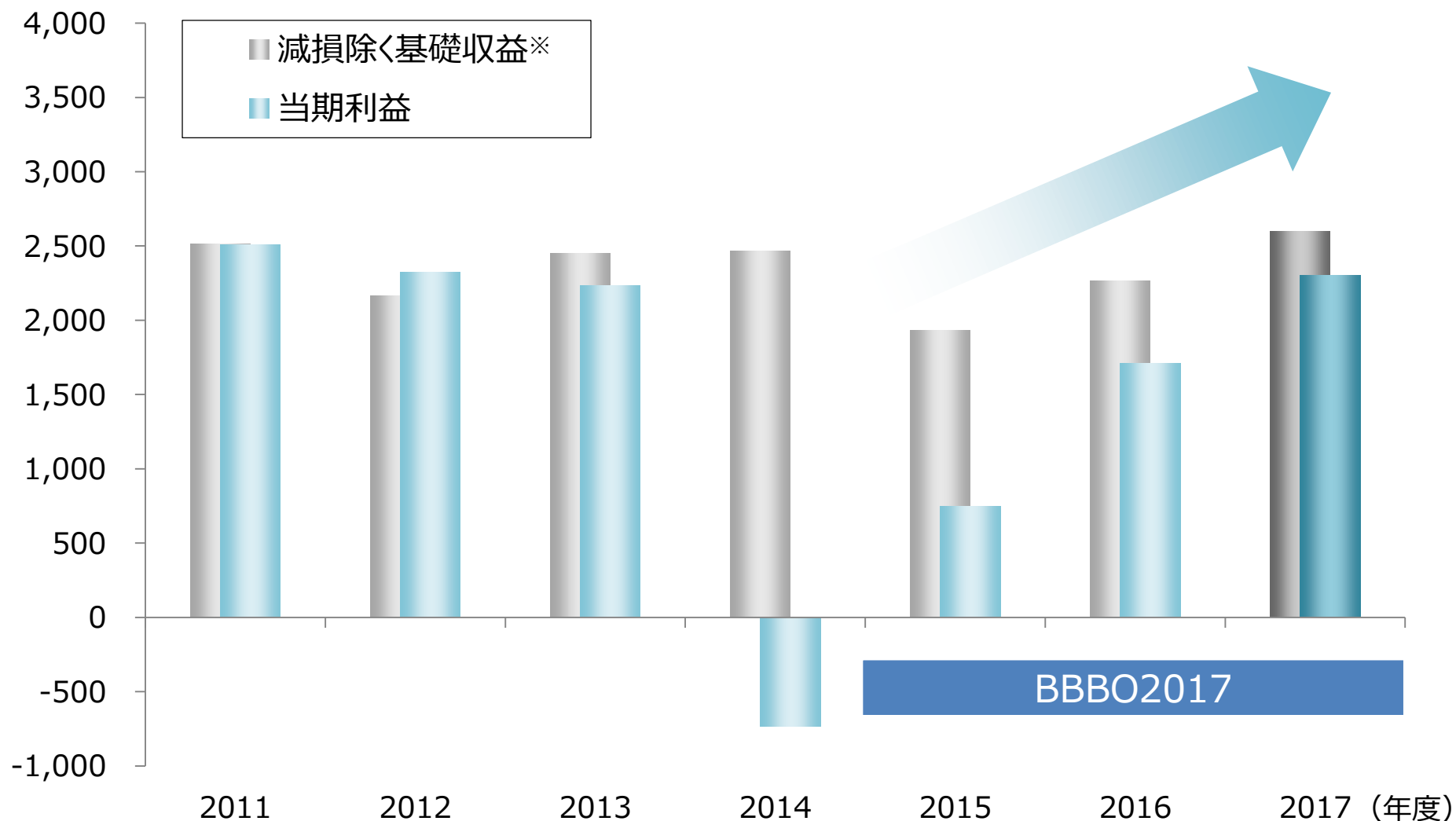
**「個の力」と「組織の力」の強化**

**財務健全性の確保**

# 成長軌道への回復

BE THE BEST, BE THE ONE

(単位：億円)



※ 基礎収益 = (売上総利益から販管費(除く貸倒引当金繰入額)を控除したもの+利息収支+受取配当金) × (1-税率) + 持分法による投資利益

# 2016年度業績、2017年度予想

BE THE BEST, BE THE ONE

| (単位:億円)                               | 2015年度<br>実績    | 2016年度<br>実績  | 2017年度<br>通期予想             |
|---------------------------------------|-----------------|---------------|----------------------------|
| <b>当期利益</b>                           | <b>745</b>      | <b>1,709</b>  | <b>2,300</b>               |
| <b>基礎収益<sup>※1</sup></b><br>(除く、減損損失) | <b>1,932</b>    | <b>2,267</b>  | <b>2,600</b>               |
| うち、資源ビジネス                             | △95             | 161           | 300                        |
| うち、鋼管事業                               | △61             | △125          | 0                          |
| うち、その他非資源                             | 2,087           | 2,231         | 2,300                      |
| <b>一過性損益</b>                          | <b>約 △1,200</b> | <b>約 △460</b> | <b>約 △200<sup>※2</sup></b> |

※1 基礎収益 = (売上総利益から販管費(除く貸倒引当金繰入額)を控除したもの+利息収支+受取配当金) × (1-税率) + 持分法による投資利益

※2 2017年度通期予想における一過性損益 約△200億円は、戦略的に資産入替を実行する為の費用を全社で予算化したもの

# 2017年度 第1四半期決算

BE THE BEST, BE THE ONE

| (単位:億円)                  | 2016年度<br>第1四半期実績<br>① | 2017年度<br>第1四半期実績<br>② | 前年同期比<br>②-①  | 2017年度<br>通期予想<br>(2017年5月公表)<br>③ | 進捗率<br>②/③ |
|--------------------------|------------------------|------------------------|---------------|------------------------------------|------------|
| <b>当期利益</b>              | <b>227</b>             | <b>782</b>             | <b>+556</b>   | <b>2,300</b>                       | <b>34%</b> |
| <b>基礎収益<sup>※1</sup></b> | <b>411</b>             | <b>774</b>             | <b>+363</b>   | <b>2,600</b>                       | <b>30%</b> |
| うち、資源ビジネス                | △60                    | 136                    | +196          | 300                                | 45%        |
| うち、鋼管事業                  | △20                    | 24                     | +44           | 0                                  | -          |
| うち、その他非資源                | 491                    | 615                    | +124          | 2,300                              | 27%        |
| <b>一過性損益</b>             | <b>約 △140</b>          | <b>約 +60</b>           | <b>約 +200</b> | <b>約 △200<sup>※2</sup></b>         |            |

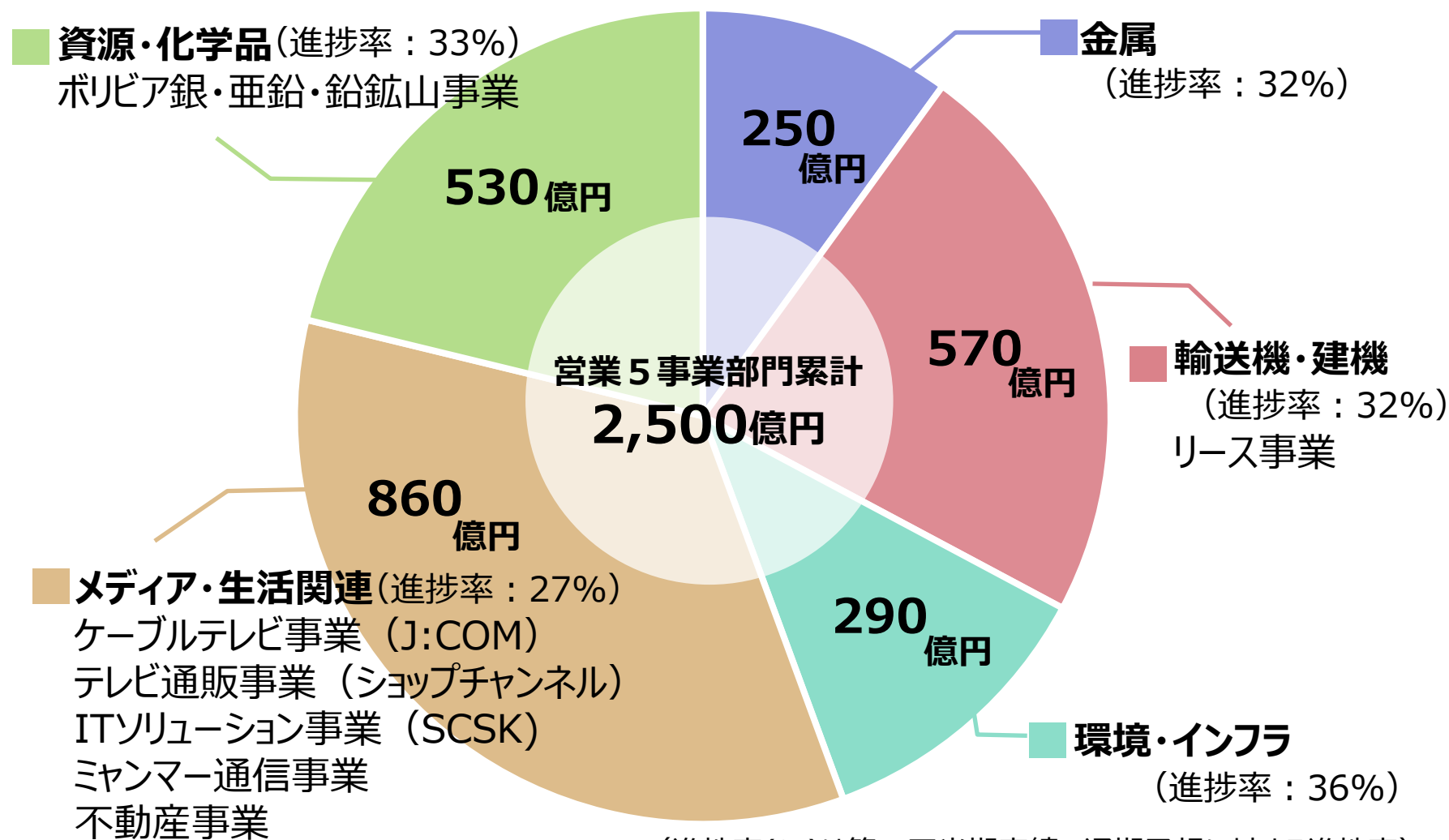
※1 基礎収益 = (売上総利益から販管費(除く貸倒引当金繰入額)を控除したもの+利息収支+受取配当金) × (1-税率) + 持分法による投資利益

※2 2017年度通期予想における一過性損益 約△200億円は、戦略的に資産入替を実行する為の費用を全社で予算化したもの

# 事業部門別当期利益（2017年度通期予想）

BE THE BEST, BE THE ONE

（単位：億円）



（進捗率(%)は第一四半期実績の通期予想に対する進捗率）

## 当社が強みを有し、高い成長が見込まれる分野に投資を集中

### 自動車・輸送関連

自動車用部品製造事業  
次世代モビリティサービス 等

### 生活・情報産業

国内外不動産事業  
メディア・ICT関連 等

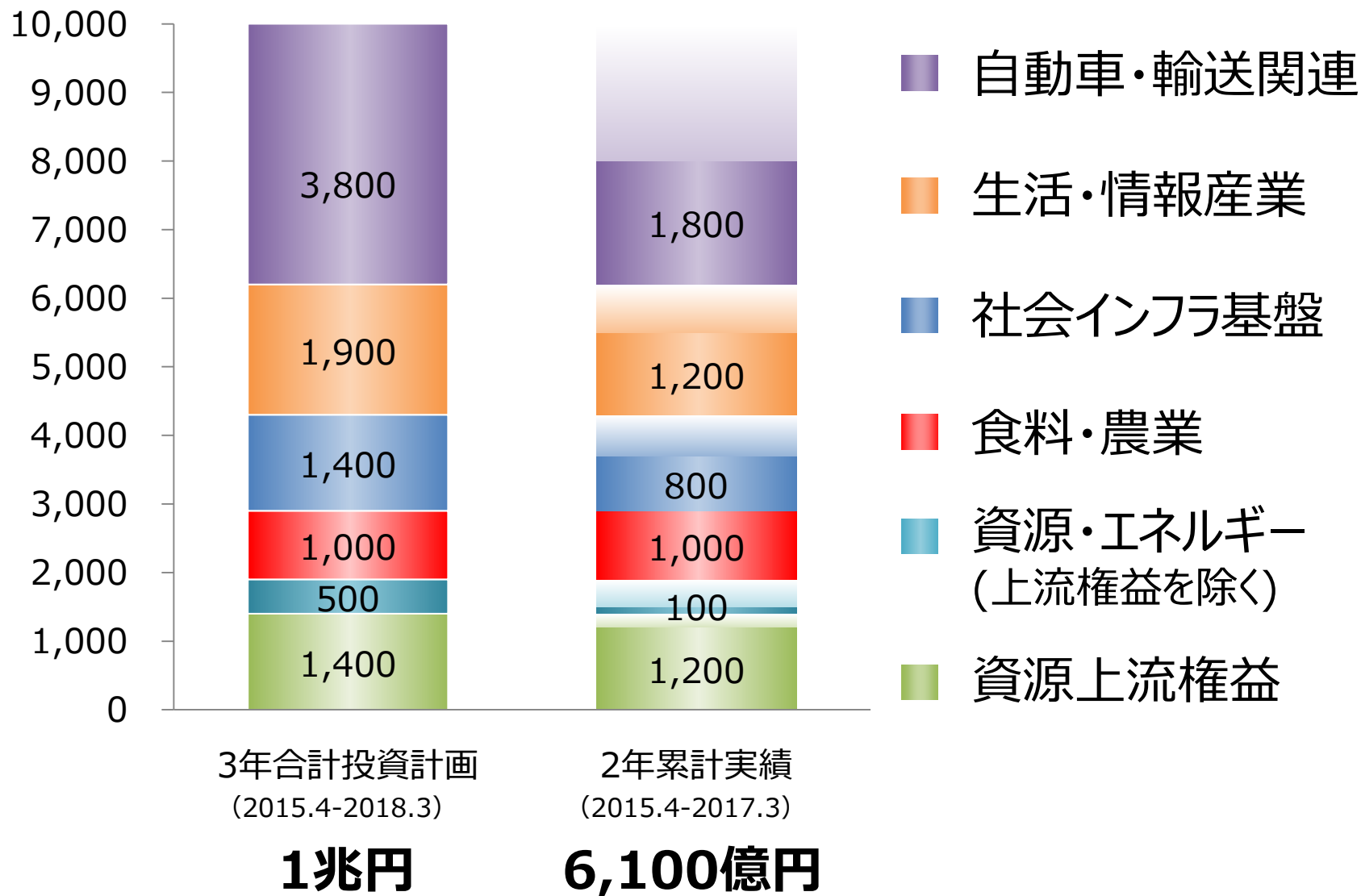
### 社会インフラ基盤

国内外電力関連 等

# 2年間の産業分野別投資実績

BE THE BEST, BE THE ONE

(単位：億円)





## 自動車・輸送関連

欧州における自動車用部品製造事業に参画



## 生活・情報産業

米国のオフィスビル取得



## 社会インフラ基盤

英国における洋上風力発電事業参画



アイルランド 青果物卸売企業「Fyffes」を買収



## 成長ポテンシャルの高い分野

エネルギー  
周辺分野

IoT・AI  
関連分野

自動車  
製造分野

等

組織間連携

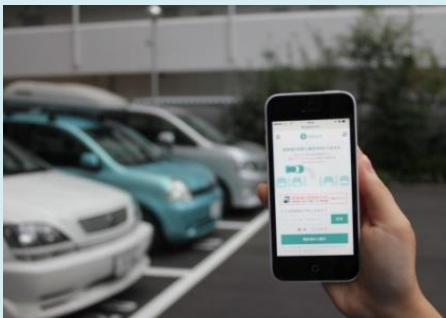
全社プロジェクトとして  
取り組む体制を強化

## 設備稼働可視化



- 三井住友ファイナンスグループ、三井住友ファイナンス&リース株式会社と共同で、実証実験を実施。
- サービス開発、及びデータの活用領域を拡大し、金融領域への活用も検討。

## シェアリングサービス



- akippa社との戦略的提携。
- シェアリングサービス\*活用の更なる可能性を追求

\* シェアリングサービス：インターネットを通じて、モノや知識を所有している個人・企業が、それを必要とする個人・企業との共有を可能にするサービス。

## 米国西海岸地区における事業開発体制強化

- ✓ 1998年に米国シリコンバレーにベンチャーキャピタル Presidio Venturesを設立。
- ✓ Presidio Venturesからの投資を通じて、当社グループが強みとするICT・メディア関連事業などの差別化を促進。

### 米国シリコンバレーオフィスを開設

20年近くにわたり、蓄積した人脈と、ベンチャー事業推進に関わる知見・ノウハウを様々な事業分野に活用。

# 配当方針

## 基本方針

- 長期安定配当
- 中長期的な利益成長による  
配当額増加を目指す

## BBBO2017方針

- 年間配当下限 50円／株
- 連結配当性向 25%以上を目安
- 基礎収益やキャッシュ・フローの状況を勘案

## 年間配当額

**2016年度**

**年間50円／株**

配当性向：約**37%**

**2017年度**

**年間50円／株（予定）**

配当性向：約**27%**

# 中期経営計画BBBO2017の 着実な達成

成長軌道への  
回復

この先50年、100年と  
継続して成長する会社に





旧浦内小学校を利用した甕島蓄電センター